



学校だより

横浜市立秋葉中学校

令和8年7月3日発行

電話 811-6773 FAX 813-9438

つなぐ力

校長 柿崎 順子

6月後半から、部活動の市総体や、その予選となる区大会・ブロック大会が始まっています。

先日、ある部活動の試合を観戦した際、たくさんの保護者の皆様に加え、多くの卒業生も応援に駆けつけてくれていました。応援だけでなく、後輩たちにアドバイスを送る姿も見られました。

そして、チームが勝利をつかんだ瞬間、まるで自分のことのように喜び、なかには感極まって涙する卒業生の姿がありました。その姿を見て、この勝利は今年のメンバーだけのものではなく、これまで先輩たちが積み重ね、築き上げてきた土台の上にあるものなのだと、改めて感じました。

試合には、必ず勝敗がつきます。全国優勝する一校を除けば、どのチームもいつかは敗れて大会を終えることになります。

しかし、たとえ結果として負けることがあったとしても、勝利を目指して仲間とともに全力を尽くした経験は決してなくなりません。その取組の中で生まれた努力や思いは、次の世代へと受け継がれ、自分自身のこれからの人生にも大きな財産として残っていくはずです。

いま、サッカーのワールドカップが行われています。先日、日本代表のワールドカップ通算 30 ゴール目が生まれた際、記念すべき 1 ゴール目を決めた中山雅史さんが、「30 ゴール目も、1 ゴール目がなければ生まれなかった」と話していました。

さらに言えば、ワールドカップ出場を夢見て挑戦を続けてきた先人たちの努力の積み重ねが、いまの日本代表につながっているのでしょう。

3年生が残せるものは、記録や結果だけではありません。仲間を励ます言葉、最後まであきらめない姿勢、苦しいときにも前を向く姿、後輩への温かな助言や背中で示す姿も、すべて秋葉中学校の大切な財産です。

一人ひとりの「本気の積み重ね」が、これからの秋葉中学校をつくっていく…その姿が見られることを楽しみにしています。

保護者の方々も引き続き応援よろしく願いいたします。